



安定稼働を見据えた ワークフロー作成における ベストプラクティス

UiPath株式会社
プロダクトソリューション本部
ソリューションアーキテクト
八塚 俊次郎

\$ whoami

氏名

八塚 俊次郎

役割

ソリューションアーキテクト

経歴

システム開発（人工衛星地上システム）
ITコンサルティング（ERP/CRM等）

趣味

旅行、読書、映画／ドラマ鑑賞
(The Big Bang Theory: Howard)



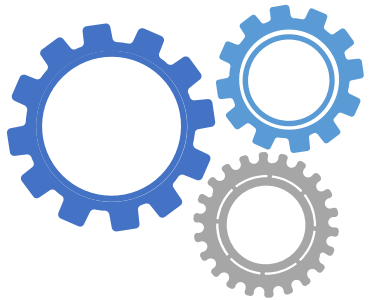
1. 安定稼働に向けた課題

2. ReFrameworkを用いたワークフローの進化プロセス (海外先進事例のご紹介)

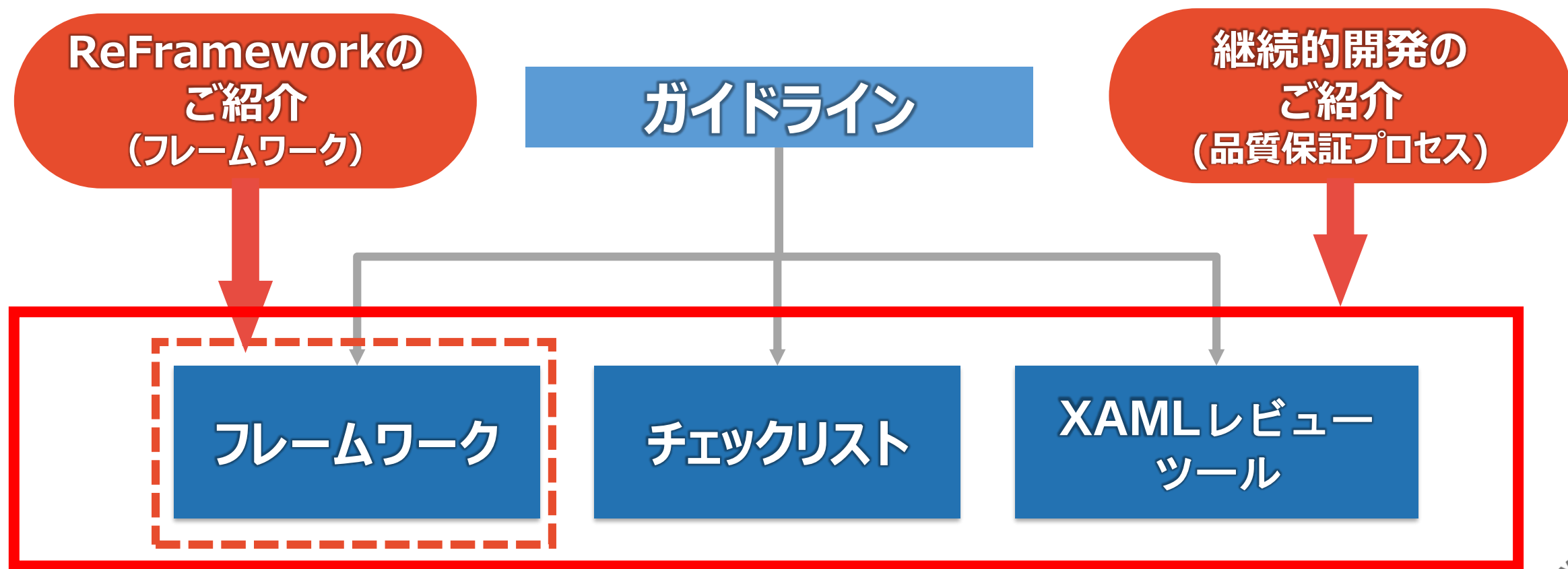
3. RPAの継続的開発 (安定稼働から効率化へ)

01

安定稼働に向けた課題

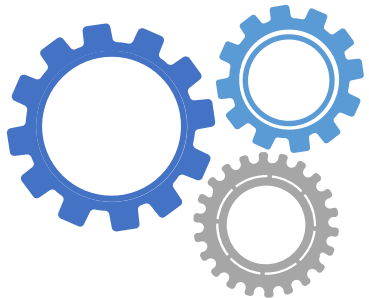


RPAの安定稼働のためには、開発において、これら注意ポイントをクリアする品質保証の仕組み化が重要となります。



02

ReFrameworkを用いた ワークフローの進化プロセス



ワークフロー作成における注意点を克服するアプローチの一つとして、ReFrameworkの利用があげられます。

観点		対応
全般	メンテナー	UiPath社
	ガイドライン	30ページ超のドキュメントの他、UiPath Academyでの90分程度の動画説明あり（日本語化対応中）
	国際化対応	英語ベースでのコンテンツ（日本語化対応中）
機能	設定情報の読み込み	対応済（InitAllSettings.xaml）
	リトライ機能	対応済（Queueによるリトライ）
	エラーハンドリング	対応済（すべての例外を捕捉）
	反復処理	対応済（一回の処理で複数トランザクションを処理し、ステータス管理可能）
	効果的なログ出力	対応済（Kibanaでの分析を想定したログ出力）



DEMO

ここからは、デモをご覧ください。

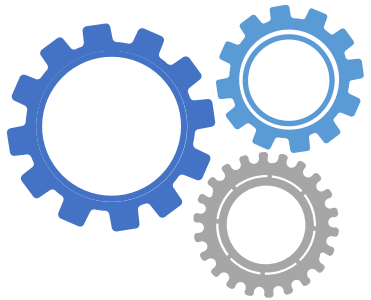


DEMO

ここからは、デモをご覧ください。

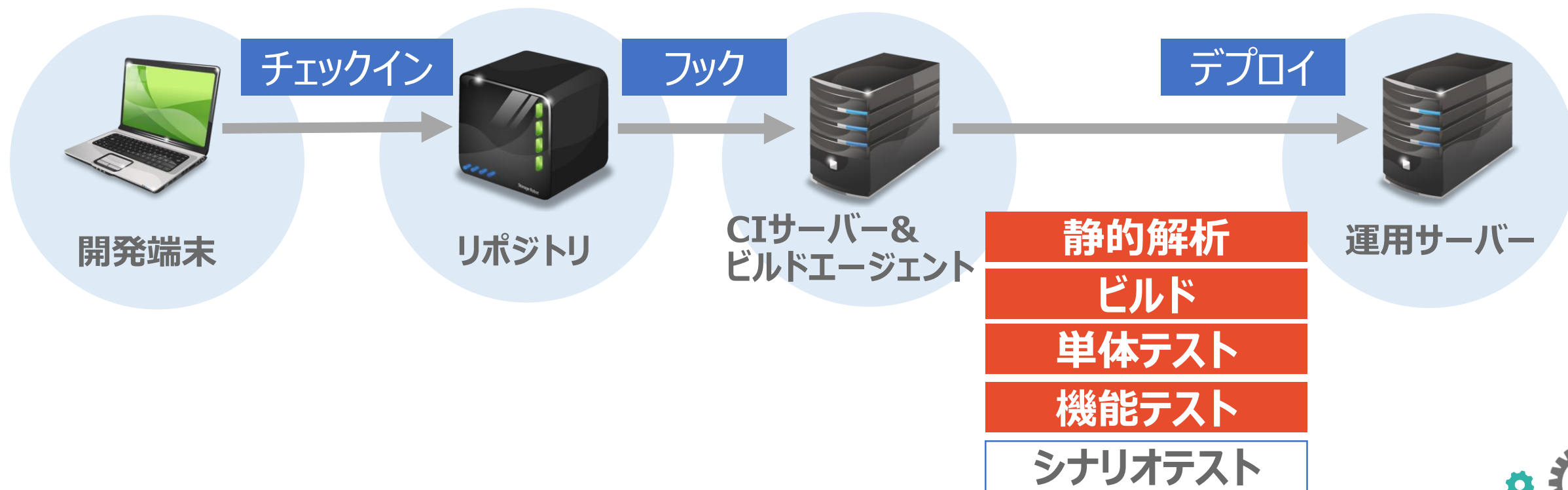
03

RPAの継続的開発



継続的開発は、CI (Continuous Integration)と訳され、Agile開発プロセス (XP) のベストプラクティスにあるコンセプトのひとつです。

クラウドサービスの開発では、TDD (テスト駆動開発) と併用し、品質保証プロセスの自動化が進められています。





DEMO

ここからは、デモをご覧ください。

